

第73回

満月の夜開くけいはんな哲学カフェ

ゲーテの会



「新しい文明」の萌芽を探る

日本と世界の歴史の転換点で、転軸機を動かした「先覚者」の事跡をたどる

科学・技術

産学連携の先駆け「理研産業団」を育成した理研理事長「大河内正敏」

[講師]

齋藤 憲 専修大学名誉教授

1947年、東京都生まれ。早稲田大学商学部卒、同大学院商学研究科博士課程満期退学。横浜商科大学教授、関東学院大学経済学部教授、専修大学経営学部教授、同大学経営学研究科科長などを歴任。

『新興コンツェルン理研の研究 大河内正敏と理研産業団』(1987年 時潮社)で早稲田大学商学博士、日経経済図書文化賞受賞。

その他著書に『稼ぐに追いつく貧乏なし 浅野総一郎と浅野財閥』(1998年 東洋経済新報社)など。

[講演要旨]

産学連携とは、新技術の研究開発や新事業の創出を目的として、教育機関や研究機関と民間企業が連携することなのは、現在よく知られている。しかし、そこに至るためには、多くの時間を必要とした。明治以降、外国から工業・技術を導入して産業を育成し、近代国家を目指した日本にあっては、自身の手で新技術を研究開発し、新事業を創出することなど思案の外にあった。研究開発するための教育・研究機関は不十分だったし、それを工業化する技術を持った民間企業もないに等しかった。そうした時代にあつて、工学に物理実験を導入して工学教育を前進させ、「外国の模倣」を脱皮するため生まれた理化学研究所の所長に就任して同所を再建し、研究資金獲得と発明の工業化を実践するために理研コンツェルンを創った男がいた。彼の活動とその背景を概観し、合わせて産学連携を促進できる諸条件を皆さんと一緒に考えてみたい。

[参考図書]

ご講演の内容の理解を促進するために次の図書が有益です。

『評伝 大河内正敏 -科学・技術に生涯をかけた男』(2009年 日本経済評論社)

どなたでも
ご参加いただけます。
ぜひ、お誘いあわせの上
ご参加ください。

日時 2019年7月17日(水) 18:00~20:30

会場 国際高等研究所コミュニティホール

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地

参加費 2,000円(交流・懇談会費用を含む)

定員 40名(申し込みが定員を超えた場合は抽選)

申し込み ホームページからお申し込み下さい
<https://www.iias.or.jp/communication/goethe>

締切 2019年7月16日(火)

けいはんな「ゲーテの会」とは…

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋の文化を総合する」ことにあります。研究所の庭園にあるゲーテの胸像はその理念のシンボルです。満月の夜は国際高等研究所で、人類の未来と幸福、そしてけいはんな学研都市について考えてみませんか。



お問い合わせ

ゲーテの会事務局

Tel: 0774-73-4000 e-mail: goethe0828@iias.or.jp

主催:公益財団法人国際高等研究所

公益財団法人
国際高等研究所